

愛道

第96号

発行・平成20年5月1日

社会福祉法人 足羽福祉会

今号のテーマ
「希望」



- 一緒に出かけましょう！（愛全園・足羽利生苑）・・・2・3ページ
- 見通しの持てる暮らしを作る
～ドリームBのグループ活動から～（足羽更生園）・・・4・5ページ
- 音楽の魔法（足羽学園）・・・6ページ
- 地域で自立した生活を
～ケアホーム『たんぼぼ』で下宿訓練始めました～（足羽ワークセンター）・・・7ページ
- 優しさのある保育園
本当の優しさって？優しい心はどこから育つの？（足羽東保育園）・・・8・9ページ

春の季節に合わせて、
お団子作りに挑戦しま
した。上手にこねて丸
めて、おいしい花見団
子のできあがり☆
（足羽ワークセンター）

愛全園のデイサービスでは、月に一回希望者を募り外出をしています。毎回、いろいろな企画を行い、利用者の方も楽しみにしてくださっています。今回は、この外出について紹介します。

一緒に出かけませんか？

毎月、デイサービスのお知らせ掲示板には、外出への誘いポスターが貼り出されます。普段外出する機会が少ない方のために企画し、恒例になっています。

昨年度から始めたこの特別企画は、利用者の方がポスターを見て、自分で参加を決めていただくことを主旨としています。自らの意思で一緒に行きたいな、しみの方を誘い、それぞれの企画に参加すること

で「いい思いさせてもらったわ、ありがとのお」と喜びの声が聞かれています。



今度は買物へ行くんや！楽しみ！

これまで、ショッピングセンターでの買い物・健康ランドでの演劇鑑賞・そば打ち体験・えちぜん鉄道乗車体験ツアーなど、どの企画も参加希望者が多く、好評を頂いています。

ます。

外出当日は、体調の確認を行った後、バスに乗り込み出発します。利用者の方はそれぞれおめかしをされ、目的地へ向かうバスの中は「初めて行くんや」「今日は何を食べてよう」など会話が途切れることはありません。そのようなうれしそうな表情を見ることが私たち職員にとっては何よりの喜びです。

ご家族からも「いろいろなと連れて行ってもらって、本人も喜んでいました。ありがとうございました」といった感謝の言葉を頂いています。



「次はどのお店を見ますか？」
「食べる所がいいな」

外出する楽しみを！



在宅で生活されている方の多くは、日中一人で過ごすことが多い方がほとんどです。外出したくても一人で行けない、歩くことに自信がないなどの理由で家に閉じこもりがちです。

「行きたいけど行けない」
そのような利用者の方の希望に少しでも添うことで、外へ出ることに意欲や楽しさを取り戻していただけたら、今後も支援してきたいと思います。

「作品集」

足羽福祉会

作品集

愛全園編

フロアに利用者の方が描かれた絵を展示しています。今回は、その中の一部を紹介します。



足羽川原 桜



春の海



臯月 思いのまま

一緒に 出かけ

利用者の方を支援する際には、その方の希望や思いを尊重することが大切です。「〇〇に行きたい」という気持ちは、そのような思いのひとつで、私たちはそれに応えていく必要があります。



カラオケを楽しむYさん

外出支援の 取り組み

Yさんのカラオケ外出

歌を歌うのが大好きなYさんは、月に一回職員と一緒にカラオケボックスに出かけます。得意の『りんごの歌』は毎回欠かさず歌います。カラオケを一杯楽しんだ後は、スーパーマーケットで好きな

おかしを買い、食事をして利生苑に帰ります。
「出かけると気晴らしになっていい」と、たいへん満足そうに話してくれます。いつもこやかなYさんですが、外出をするとより一層すてきな笑顔をを見せてくださいます。

外出を計画する際は：

外出することは、利用者の方にとって刺激になり、心の活性化につながります。そして、きちんと計画を立て準備を整えることで、より楽しんでいただけます。

まずは、行き先を決めます。その方法として、

- ・利用者の方の意見を聞き、行き先を決める。
- ・利用者の方の意見を聞くのが難しい場合は、その方の生活歴、好みなどから、その方が望みそうな外出先を提案する。
- ・季節ごとの風物詩を見に行く。
- ・懐かしい場所、住み慣れた地域などに出かける。

また、利用者の方の身体状況などを考慮し、車いす用のトイレがあるか、段差などで転びやすくないか、などといった要素も外出先を検討する際の注意事項です。

外出の内容によっては、複数の利用者の方で一緒に出かける場合や、Yさんの例のように利用者の方一人に職員が付き添う個人外出などの場合

があります。

外出中もそれぞれの職員が利用者の方の見守りや案内を行い、安心して楽しんでいただけるように配慮しています。

ここまではあげたものは、外出計画を立てるときに検討することの一例です。事前に計画を練ることで、利用者の方の希望に沿った外出になると思います。

人にはそれぞれ自分の行きたいところがあり、そこに出かけたいと思うのは当然のことです。しかし、施設入所されている方は、外出できる機会が少ないのが現状です。外出すると、普段とは違う環境に触れるため、屋内での活動とは違った楽しみを感じることが出来ます。これからも計画をしっかり立て、より多くの方に楽しく満足していただける外出となるように取り組んでいきたいです。



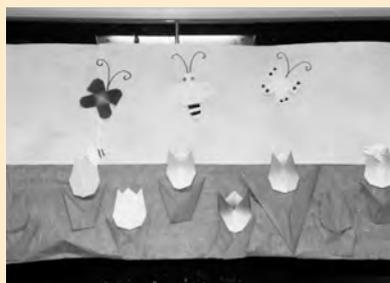
「作品集」

足羽利生苑編

今回は利用者の方の作品を紹介いたします。



折り紙クラブで作った雛人形です。



さくらユニットの皆さんが作ったチューリップと虫たちです。



さくら菜の皆さんが作ったどんぐり模様の写真立てです。

いかがだったでしょうか。これからも素晴らしい作品をたくさん作っていただきたいです。

95号にて足羽更生園の日中活動の拠点である「羽生の郷」が、福井市美山地区に開所した様子を紹介しました。その他にも園内で行っている日中活動がいくつかあります。

日中活動の内容として、午前中は作業活動とグループ活動、午後からはクラブ活動（火・木のみ）となっており、利用者の方々は作業活動・グループ活動の中のどれかと、クラブ活動の中のどれかに参加しています。（図①）

作業活動では企業からの委託請負の仕事、缶洗い、マット編みを行っており、グループ活動はドリームA、ドリームBの2グループがあります。

グループ活動の「ドリーム」というグループ名は、夢（ドリーム）のある楽しい活動にしたい、夢を持って将来に向かっていきたいという願いを込めてつけられたものです。集団の中で音楽を聴いたり、体を動かしたりすることで情緒の安定や他者とのより良いコミュニケーションの取り方などができるように支援しています。

今回はその中のドリームBの活動を紹介します。

見通しの持てる暮らしを作る

ドリームBのグループ活動から

日中活動	午前の部 (月～金)	作業活動 (委託・缶・マット) グループ活動 (ドリームA・B)
	午後の部 (火・木)	クラブ活動
月・水・金・土の午後は入浴があります		

図①

ドリームBの活動

十六名の利用者の方々が、更生ふれあい棟の三階にある「さんるーむ」という場所で活動を行っています。身体的に活発な運動が困難な方が多いので、体力・身体能力に合わせて、階段とエレベーターを使い分けて活動場所に行きます。

活動の内容としては主に、「歩行」「指先運動」「紙芝居を見る」などです。これも利用



落ち着いて、課題を行う利用者の方々

者の方々の能力に合わせた課題を職員が利用者と相談して行っています。

平成19年度の取り組み

1、QOL(生活の質)を高める

月曜日から金曜日までの午前中、同じ時間、同じ場所と同じ職員が中心になって支援しています。このように条件・環境を同じにすることで利用者の方々にとって見通しの持てる活動になっています。時間になると活動場所の前やエレベーター前に集まり、支援職員が来るのを待っています。

①習慣が身に付く②手作業が習熟する③身体機能が活発化する④心身の健康が増進されるなどの効果が得られると考えられています。

「作品集」

足羽更生園編

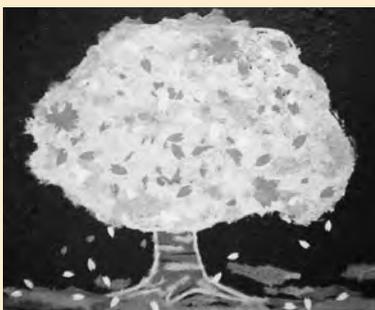
クラブの時間に利用者の方が作った作品を紹介します。

折り紙クワツツ



♡ハッピークローバー♡

ちぎり絵クワツツ



桜の木

歩行器を使って、歩行をがんばっています。



2、アセスメントの実施

最初にアセスメントを行いました。アセスメントとは、利用者一人ひとりがどのようなことを得意としているのか、どのようなことに興味を持っているのかを知ることです。このアセスメントを行って利用者一人ひとりの能力、関心に応じたメニュー作りをしました。

3、2つのグループ

アセスメントの結果、利用者の方々のニーズに合わせて二つのグループに分けました。
 ④ 手作業中心グループの支援は、レクリエーションとリハビリテーションを兼ねて、マット編み、パズル、ビーズ

のひもとおしなどの課題を提供しています。楽しみながら行えることを目指しています。

⑤ 歩行中心グループでは、音楽を聞いたり室内を歩行したりしています。利用者個人の能力に合わせて目標を決め、本人のペースで歩行しています。

歩行は暮らしの中のストレスからの開放を目指し、健康と脚力の維持を図っています。利用者同士が手をつないでペア歩行をすることで、スキンシップと信頼関係を築いていきます。

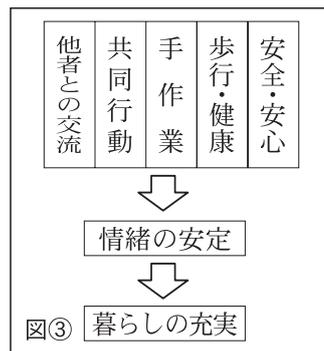
a・bの活動の後、室内の中央に集まり、紙芝居を見たり、お昼のメニュー紹介を聞いたりしています。(図②)

10:30	④ 教材作業 中心 グループ	⑤ 歩行中心 グループ
11:30	紙芝居・ 昼食メニュー紹介 タイム	

図②

活動を通して

個人の能力に合わせた課題に集中して取り組むことで徐々に情緒が安定してきました。更に、見通しの持てる活動を行うことで情緒が安定し、また、情緒が安定することで作業が継続できるという良い結果が見られています。(図③)



今後の課題

利用者一人ひとりが意欲を持って活動に参加できるように、個人の得意なこと、興味のあることに常に関心を持ち続けたいと思います。そして、新たな手作業の種類を増やし、利用者の方々の能力を高めることも大事な課題です。無理のないよう、徐々に利用者一人ひとりのペースに合わせて支援していきたいと思っています。

ドリームB支援員 岡崎慈樹



集中して取り組んでいます。

今まで声掛けられるまま活動場所に来て、提供された課題をなんとなく行っていたという利用者の方々が、自ら積極的に活動の場を集まり、集中して活動を行っている様子を見ると、支援の成果が感じられます。なかなか活動に参加できなかった利用者の方も参加できるようになってきました。

居住エリアを離れて、活動場所という空間に同じ仲間、同じ職員が集い、いつもの活動を行えることが、見通しの利いた暮らしを提供することだということがわかりました。これからも利用者の方々の暮らしが充実していくような活動を提供できるように取り組んでいきたいと思っています。

「作品集」



桜の花



女の人

* 絵画クラブ *



春一番



福徳長寿

* 習字クラブ *



現在、足羽学園では、毎週土曜日に音楽療法を行っています。今回は音楽療法の先生に、取り組みや熱い思いを伺いましたので紹介します。

私は元々子どもたちにピアノを教えていたのですが、ある子どもに出会ってからは、音楽療法に興味を持つようになりました。その子は軽度の知的障害を持っていて、知識のない私はなかなか上手に教えることができませんでした。そこで、図書館で知的障害に関する本を借りて勉強し、手探り状態の中で、レッスンを続けました。

しかし、その子が8年間続けたレッスンをやめたあと、「もっと上手に教えることができていれば」という思いが強くなり、それが原点

音

となつて、足羽学園で音楽療法を行うようになりました。昨年5月より、入所や日中一時支援の利用者の方々に音楽療法を行っており、その効果は個人差がありますが、皆さんそれぞれの成長が見られています。特にA君は当初発語がほとんど見られなかったのですが、絵・文字カードを用いることで発語が増え、歌の一部を歌うようになりました。

初めてA君と音楽療法を行ったとき、A君は音楽に興味を持たず、落ち着きがない様子で部屋の中を走り回っていました。いろいろな取り組んでみてもなかなか興味を示してくれませんでした。それで、音楽療法に集中できるように、まずはA君と私が1対1でかかわり、静かな環境を用意するようにしました。

楽

さらに、学校では文字を声に出して読むことができないというのを聞いたので、私とA君の名札を作って文字を指差すと、小さいながらも名前を言うことができました。

の

それから、絵カードの下に文字を書いたものを読んでもらうことで、発語が増え、集中して取り組めるようになってきました。『音楽は知的過程を通らずに、直接、情動に働きかける』と言われていました。音楽を聴いていると、自然とリズムをとっていたり、体を揺らしていたりすることがあると思います。つまり、音楽は言葉で伝わるものとは違い、何も考えずに自然と受け入れられているということなのです。

これは、自閉症の方にはとてもわかりやすいことで、例えば、A君は声かけでは始まりを認識できなかったのが、キーボードで決まったメロディーを弾くと始まりを認識でき、私の前にき



集中しているね!!

魔

ちんと座ることができるようになりました。私は足羽学園以外にも高齢者の方が利用されている施設へも訪れ、音楽療法を行っていますが、まだまだ一般の方々への認知度は低いのが現状です。これからは今まで以上に活動の幅を広げ、そして音楽療法の実施者を育成することで、より多くの方々に音楽療法の素晴らしさを知っていただけたらと思います。

そして、これからも音楽療法の良さや楽しさを最大限に活用して、発達に心配のある子どもたちの発達を援助したり、また、生涯を通じて豊かな社会生活を送れるよう援助していきたいと思います。

法

認定音楽療法士
紙谷 朋子

足羽学園では音楽療法で行ったプログラムを生活支援の中で活かせるところがないか検討し、生活支援の中でも音楽療法を活用することで、利用者の方々が楽しく成長していただけたらと考えています。

「作品集」

足羽学園編

今回は足羽学園の素晴らしき作品の数々をご紹介します。



《節分の豆まきにて》
普段はかわいらしい子どもたちも、この日だけは怖い鬼に大変身です！



《中庭にて》
枯れ葉で道路を作ったよ！このトラックはどこまで荷物を運ぶのかな？



地域で自立した生活を

～ケアホーム『たんぽぽ』で下宿訓練始めました～



宿直の職員と共に、朝食の準備をしています

平成十八年に障害者自立支援法が施行され、地域生活を中心に支援を展開することとなりました。足羽ワークセンターでは、法律の制定を受けケアホーム「たんぽぽ」での下宿訓練が平成二十年一月から始まりました。今回は、四月からの本格的な入居に向けた様子を紹介します。

足羽ワークセンターでは男性利用者三十五名のうち、二十名の方がケアホーム「たんぽぽ」での下宿訓練を始めました。このケアホームは福井市和田東地区にあり、もともと一般企業の社員寮として使用されていたものを改築しました。現在は利用者の方一人ひとりが自立した生活を送るために、新しい場所での生活に慣れようと頑張っています。

このたんぽぽで訓練している利用者の方は、毎朝起床・洗面などを行い、世話人や職員と共に食事の準備や片付けをしています。ワークセンターで日課をこなしていたときには、職員主体の支援が中心でしたが、現在では利用者の方一人ひとりが自分で考え、積極的に行動することができつつあります。

今までは、ワークセンター内で衣食住の全てが行われていましたが、それらが分離されることによって、利用者の方の生活がメリハリのあるものとなりました。以前のワークセンターでは四人部屋が多く、利用者の方の居住スペースが少ない、また、プライバシーを過ごす場所がないなどの問題もありました。しかし、たんぽぽでの訓練が始まり、自分たちの居住スペースが確保されたこともあって、落ち着いて毎日の日課を行っています。

今後も、利用者の方が楽しく自分たちらしい生活を送れるように、支援をしていきたいと思えます。



作業に行く前に、掃除をしてから出掛けます

「たんぽぽでの生活はどうですか？」

たんぽぽに来て、毎日色々な料理を教えてもらって良かったなと思います。

利用者・Hさん

たんぽぽから歩いて出勤するのは、良い運動になります。休まずに足羽サポートセンターに通動しています。

利用者・Iさん



「作品集」

足羽ワークセンター編

休日の活動を 楽しんでます

地域活動支援センターあすわの活動として、お好み焼き作りや写真立て作りをしました。



とてもすてきな写真立てが完成しました。どんな思い出を飾るのかな？



お好み焼き作りをしました！おいしいお好み焼きが待ち切れないようですね★

皆さん自身で材料を混ぜ合わせ、お好み焼きを焼き上げました。とてもおいしそうに仕上がりました！写真立ても上手にできました！

ある保育園

しさって？
これから育つの？



そうね。そういえば母は、私のことを全て受け止めてくれ優しさを感じたわ。



私は、赤ちゃんと触れ合うと無条件に「かわいいい」と思い、体の中から優しさが溢れ出す感じがするけど、みんなはどんなときに優しさを感じる？

『どのような子に育ってほしいですか』の問いに『元気で優しい子』とのが多く聞かれますが、優しさにはどんな気持ちで込められ、また、優しい心はどのように育っていくのでしょうか。
当園では、優しさの意味を考えようと『本当の優しさとは。優しい心の育ち』について座談会を行いました。今回は優しさについて、職員のいろいろな思いをお伝えします。



子どもは愛された分、人を信頼し人を受け入れるようになるから、この気持ちを育てるのが全ての出発点だと思う。
幼児期の大人からのかかわりって心の根っこの部分よね。心が満足する体験や、人に優しくされたり、優しさを肌でいっばい味わった子は、人の思いにも気づき優しくなれる。この基礎の部分がしっかりしていないと、いくら積み上げても優しさは育たないと思うわ。



でもときには、試練を与える優しさもあったよ。母親の優しさの中には厳しさや子どもを許す心、子どもの立場を思いやる心があると思う。お母さんの優しさって一生懸命やね。



私は、子どもが困っているという自分でできることでもしそうになるけど、どこまでが優しさかいつも迷ってしまう。



例えば、重い荷物を持っていてお年寄りだったら手伝ってあげるのが優しさになるけど、力を出して頑張っている子どもだったら過保護になってしまい優しさにはならないわね。優しさとは、相手の立場になって一番良い援助をするかどうかだと思うわ。それには、相手の気持ち



をいつも考えていなければできないね。
大人が先回りし何でもしたり、口出しするのは過保護で、いつまでも自立できないわ。
子どもが自分で考え自分で行動できるように陰で援助し、力をつけてあげることが本当の優しさやと思う。優しくなるには自分の心に強さや厳しさがないとね。



子どもは友達といろんなトラブルを体験しながら、「自分がこうすると相手はそう思うんやな」と相手の気持ちが少しずつ分かり心が育っていくね。いくら『優しくしなさい』と口で言っても本人が体験しないと伝わらないね。



人と多く接することで、いろんな人の考えや気持ちを感ずるよね。優しさを育てるには、まず『感じる心』が育つように、触れ合う環境を作ること大切だと思う。



子どもの心が優しさでいっぱいになると、子どもから他人へ優しさをあげられると思うんだけど。

「作品集」

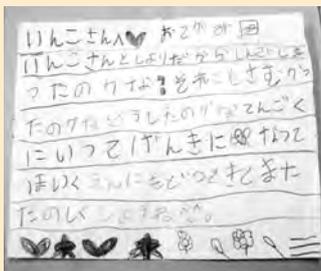
足羽東保育園編

インコさんから 教えてもらった命

長年、園にいたインコがいなくなってしまうました。そのインコに五歳児の子どもたちが手紙を書きました。



最後まで生きてみんなを楽しませてくれてありがとう。これからも楽しんで保育園に戻って来てください。



・インコさん年寄りだったから死んでしまったのかな？それとも寒かったのかな？どうしたのかな？天国に行っちゃったのかな？天国に行っちゃったのかな？

優しさの 本当の優 優しい心はど



優しい心を持った人って感性も豊かだよ。相手の苦しみや、喜びを自分のことのように分かることができ、共感できるのは、気づきや感性が



生活リズムは重要ね。私も自分の健康が一番だと思う。健康が笑顔を生み出し、笑顔が周りの人を幸福にし、幸福だと優しくなれるわ。



でも、たくさんの優しさをもらっても、子ども自身の心が安定して満たされていないと他の人にも優しくできないんじゃないかな。まずは、子どもの思いを全て受け止め、気持ちを理解してあげること。そして、安定した生活リズムを送れるようにすることが大切だと思うけど。

磨かれていないとできない気がする。きっと、そういう人は自分も辛い苦労をしたり、優しくされたいの体験をいっぱいして優しい気持ちが育ったんだろうね。



動物や植物、自然など自分の周りにも思いやれる心が大切だね。昔の人って、人に向ける優しさと同じくらい自然にも優しくかったと思う。うちの保育園の子どもたちも自然の中で遊んでいて、本当に心が育っていくわね。



優しさは、全て人と人との心の結びつきよね。その中からいたわりも出てくるし。それに、差別をしない人の心からも優しさが出てくると思う。相手を傷つけないことも優しさかな。



でも、傷つけないようにと言わないでおくことは、本当の優しさではないのでは。優しい言葉はいやされるけど、見せ掛けの優しさにもつながると思う。



私は優しい心は日常生活の中から自然に培われていくものだと思うけど。夫婦が敬いあう生活をしていけば、子どもにも自然と優しさが育っていくんじゃないかしら。子どもの日常の



優しさについての座談会

優しさの心は深いものです。皆さんは本当の優しさについてどのように思いますか？

ちよつとした場面を捉えて褒めることで自信もつくし、優しさも育つわね。それに、家族間で毎日のあいさつや「ありがとう、ごめんなさい」など、相手を気遣う言葉を掛け合うことで感謝の気持ちも持てるようになると思うわ。子どもの優しい心を育てるための第一歩は、家庭や保育園といった身近なところであり、日常の親や保育士の姿からだと思うわね。

「作品集」

・赤い実が実る木の下にお墓を作ってあげるね。実がなったら、天国で食べてね。
*日頃より、自然の中で生き物と関わっていることで育った子どもたちの優しい心を実感でき、とてもうれしく思いました。



平成十九年十一月に福祉サービス第三者評価を受審しました。
受審するにあたり、当園の保育やサービス、給食、安全管理など、あらゆる面での見直しや自己評価を全職員が一丸となり、取り組むことができました。
今後、利用者の方に安心と納得をしていただけるような保育園を目指していきます。どうぞよろしくお願い致します。
なお、受審結果は福井県社会福祉協議会のホームページで閲覧することができますのでご覧ください。



できごとアラカルト



おもしろいな！

愛全園

へ落語公演会

3月7日、京大落語研究会の方が来園され、落語の公演をしていただきました。場内笑いの渦となり、楽しいひとときを過ごしました。



スマッシュが決まったかも!?

足羽ワークセンター

へ温泉外出

すかつとらんど九頭竜で温泉に入り、卓球をして汗を流しました。お昼のご飯もグッドでした★



酒生小学校の生徒さんと同じ綱を引って張ってミニ運動会を楽しみました。

へミニ運動会



ヨイショ!がんばれ!!

足羽学園



2月19日、福井市美山地区の「羽生の郷」に羽生小学校の6年生の児童7名が、見学・交流に来てくださいました。一緒に、衣類をはさむクリップの組み立てやマット編み、缶つぶしを行いました。その後、歌を歌ってくださいました。利用者の方も一緒に歌いました。



〈見学・交流〉



足羽更生園



トントンつぶすぞっ

足羽東保育園

へ打ち豆作り

食育ボランティアの木村さんが来園し、石臼を使い昔ながらの打ち豆作りと黄粉作りを体験しました。



結構、つかれるわ～

足羽利生苑

きらく楽の皆さんが大根なます作りをしている様子です。皆さんで協力し合い、味見をしながら作りました。

へなます作り



みんなの広場



敬称略させていただきました。



〜羽生の郷ができて〜

障害者自立支援法に基づき、私の子供がお世話になっていく足羽更生園でも、昼夜の生活基準が分離されることになり、福井市美山地区に「羽生の郷」を開所しました。

「羽生の郷」に通っている利用者の方はどの方も実に嬉

しそうにバスに乗り込み、また作業も嬉々として一生懸命に励んでいますので、親としてもうれしくなっています、自然に笑みがこぼれてきました。当初は昼夜の生活分離ということをお聞きして、どうなることかと随分心配していたのですが、職員の方のご尽力で想像以上に昼の部の作業場所が確立され、親として本当に感謝の気持ちで喜んでいます。

足羽更生園利用者家族

中座 幸一

☆アップルコンポート☆

【材料…4人分】

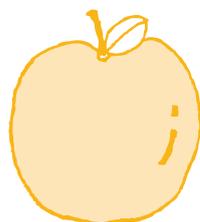
- ・りんご 1個
- ・砂糖 大さじ1
- ・水 適量
- ・赤ワイン 小さじ2
- ・シナモン 少々



【作り方】

- ①りんごは皮をむいて4等分に切ります。
 - ②鍋にりんごを入れて、ひたひたにつかる程度の水と砂糖・赤ワインを加え、りんごが柔らかくなるまで静かに煮ます。
 - ③最後にシナモンをふってできあがり。
- ※お好みで、生クリームを添えてもおいしいです。

そのままのりんごでは固くて食べられない方もいらっしゃるかもしれませんが、コンポートにすることで軟らかくなり口当たりも良いため、おいしくいただけます。栄養価も高く消化に良いので、体調の悪いときにもおすすめです。ぜひ、試してみてください。



スプーンやフォークの輝きを取り戻す



おばあちゃんの手拭ぶくろ

古くなって輝きを失い、くすんでしまったスプーンやフォーク。新品のころの輝きを取り戻したいときには、歯磨き粉が役に立ちます。まず、歯磨き粉を付けた布でスプーンやフォークをよく磨き、きれいにふき取って洗い流してください。洗剤で洗っても取れないくすみ落ちて、ピカピカになります。簡単ですので、皆さんぜひ試してみてください。



「心と心のかけ橋」を
読ませていただいで

障害のある人とふれ合っ
てみて、行動や気持ち
が理解できるとい
うようになつたそう
ですが、無理もないこ
とだと思います。

理解することの大切さ

私自身、障害児の親とな
って世の中にはいろい
ろな障害

を持った人がいるのだと
気づきました。そして、
育てていくのに何て窮
屈で困難な社会だと思
いました。どうしたら
みんなに理解してもら
えるのか今も悩み続け
ています。

障害を持っている人と小
さいときから地域で同
じ保育園、小学校と生
活を共にすれば、偏見
も持たず、おのずと助
けてあげようとする思
いやりや、優しさは自
然に身についてくるも
のだと思います。障
害を持った人は決して
特別な人ではありません。
心がきれいで優しい人
たちばかりです。

交流がきっかけで福祉
を目指されたことは本
当に嬉しい限りです。
これからも、いろいろ
な機会に交流を続け
てほしいです。そして、
一人でも多くの人に理
解してもらえたらと願
っています。



足羽学園と酒生小学校との



足羽学園保護者
戸田ひとみ

「措置から契約へ」を
読ませていただいで

いつもタイムリーな話題
の企画で、毎回楽し
みに読ませていただ
いでいます。考

契約制度への期待

えさせられる内容のも
のもあり、とても勉強
になっていま

特に93号の『措置から
契約』

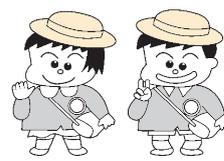
では、利用者家族の経
済的負担は大変な物
になりましたが、サー
ビスを自分で選べる

な可能性が引き出され
ることも期待したい
です。わが息子は重
度の障害を持ってい
ます。それでも、援
助されながらの自立
ができるような世の中
に変わってほしいも
のです。

というのには本当に喜
ばしいことのように思
います。日中活動の場
と居住サービスが分
けられたことにより、
いろいろ

足羽学園保護者
山口 啓子

地域の樽元さんや河下
さんは広告の紙で手作
りの升や船折りをたく
さん折って、保育園の
子どもたちにと、定
期的に届けてくださ
っています。子ども
たちは自分の宝物を
入れたり、ママ



ご協力 ありがとうございます

ごとのお皿にし、ごち
そうを入れたりする
など、いろいろと工
夫して楽しんでいま
す。

『自分の趣味が子
どもたちにこんな
にやくだつてもら
えるとは』と大変
喜ばれました。温
かい心で子ども
たちに伝え、大切
にしていきたく
思います。

おもちゃ募集

足羽ワークセンターでは、
日中一時支援事業で使
用する児童用のおも
ちゃを募集してい
ます。ご家庭に眠
っているおもちゃ
があれば、ぜひとも
足羽ワークセンター
にご寄贈ください！
TEL (0776) 41-3795

足羽ワークセンター

恵美まで

Information

この「みんなの広場」では、皆
様からの御意見、御感想をお
待ちしております。宛先はこ
ちらです。

足羽福祉会 愛道受付係
〒910-2178 福井市柁野町20-7
TEL (0776) 41-3121

